

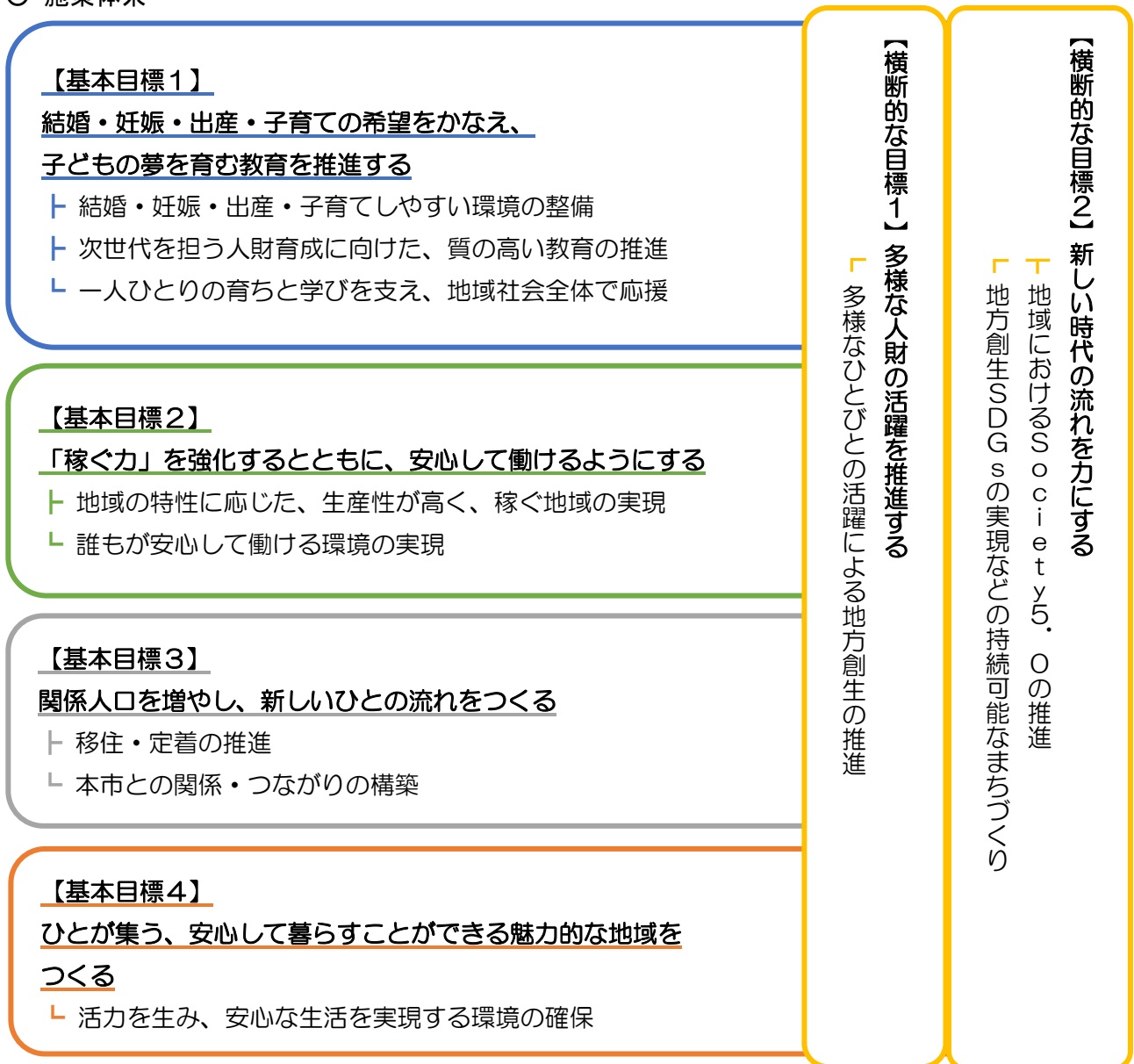
第2期 「宇部市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

令和5年度実績について

令和6年7月
宇部市 政策企画課

1 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について

○ 施策体系



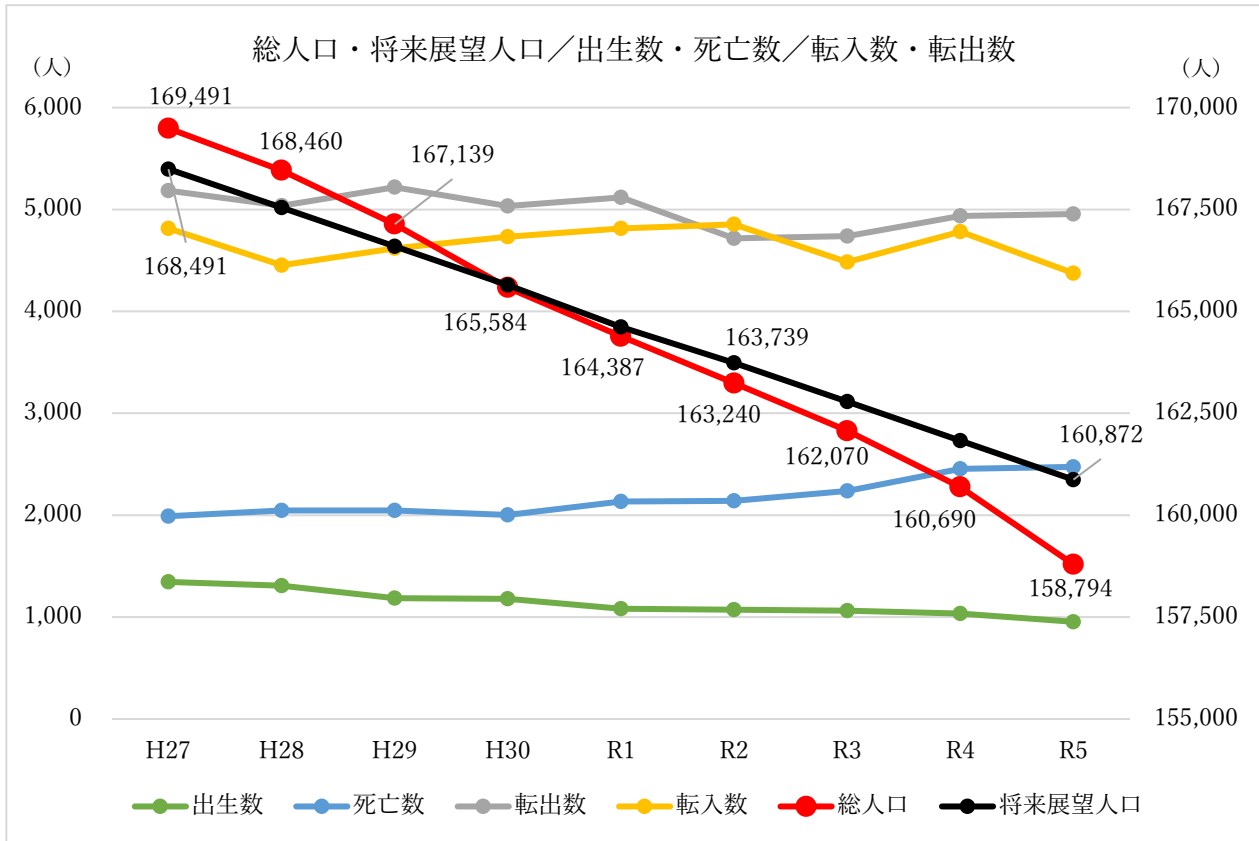
○ 対象期

	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
総合計画	第四次総合計画基本構想（12年）								第五次総合計画 基本構想（10年）～2030年			
	中期実行計画				後期実行計画				前期期実行計画			
まち・ひと・しごと 創生総合戦略		第1期「総合戦略」					第2期「総合戦略」					

2 人口の現状と分析

宇部市人口ビジョン（2015 年～2060 年）では戦略的な人口減少対策等を実施することにより、将来の展望人口として令和 5 年 10 月 1 日時点で 160,872 人の維持を目指していました。

しかしながら、高齢化の進展に伴う死亡者数の増加により、自然減（出生が死亡を下回る）が年々拡大しており、住民基本台帳人口は、158,794 人と展望人口を約 2,000 人下回りました。



※総人口、将来展望人口は各年 10 月 1 日時点の数値

※出生数、死亡数、転出数、転入数は各年 4 月から翌 3 月までの総計

3 基本目標の進捗

人口減少・少子高齢化が進行する中において、本市が持続可能な発展をしていくためには、一定の人口を確保することが重要であり、将来展望人口の達成に向けて、出生数の増加と社会減への対応が重要になってきます。そこで、令和 2 年度からスタートした第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略では、本市で子どもを産み、育てたいと思えるような子育て支援の充実や教育環境の整備を行うとともに、産業振興施策を強化し、安心安全で魅力的なまちづくりを進めることで、「ひと」「しごと」「まち」の好循環を促進します。さらに、これらを支える基盤として、多様な人材の育成や未来技術（Society5.0 の実現に向けた技術）の導入にも施策横断的に取り組むことで、誰もが生き生きと暮らし活躍できる社会の実現を目指しています。

基本目標 1

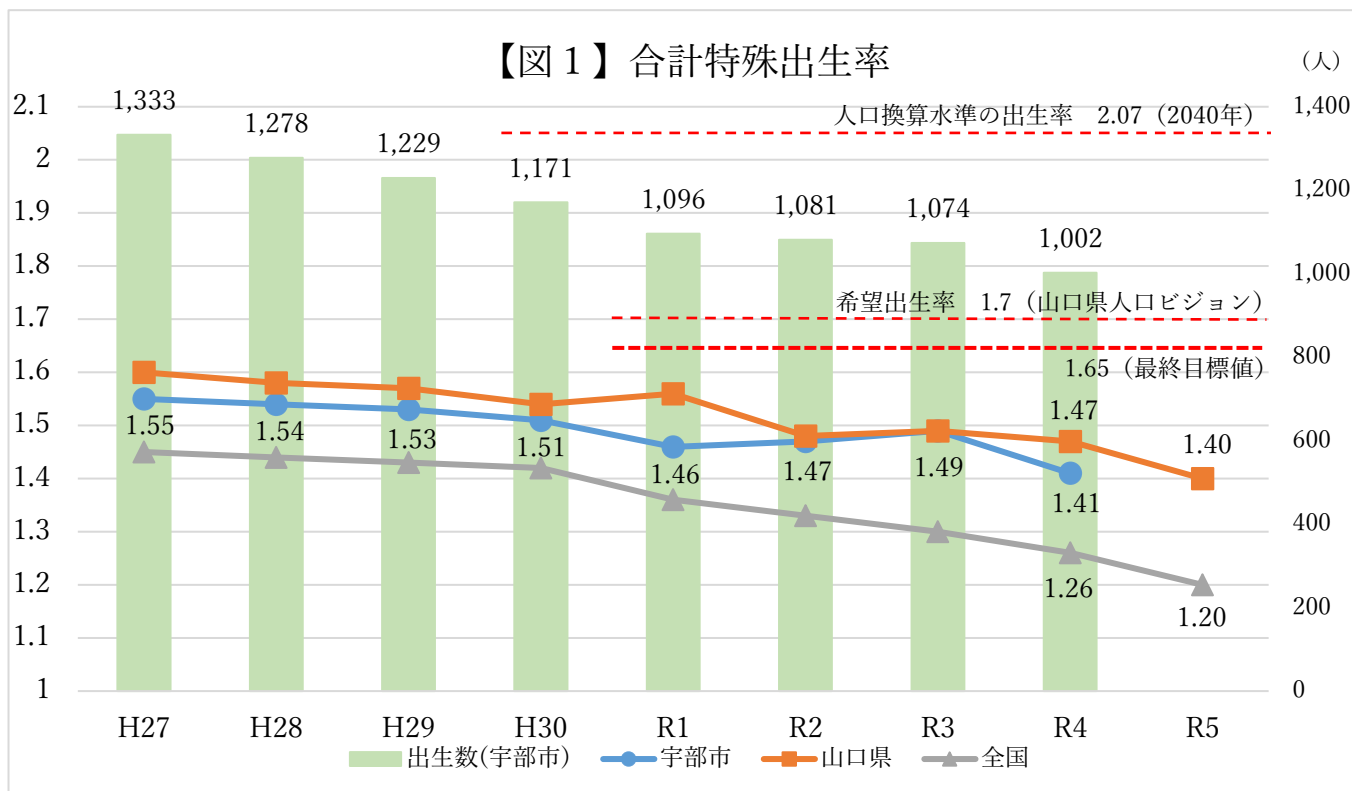
～結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、子どもの夢を育む教育を推進する～

重要目標達成指標（KGI）

指標	基準 【H30(2018) 年度】	実績 【R2(2020) 年度】	実績 【R3(2021) 年度】	実績 【R4(2022) 年度】	実績 【R5(2023) 年度】	目標値 【R6(2024)年度】
合計特殊 出生率【図 1】	1.53 (2017 年)	1.46 (2019 年)	1.47 (2020 年)	1.49 (2021 年)	1.41 (2022 年) 〔目標値〕 1.63	1.65
将来の夢や目標 を持っている小 中学生の割合	小 6 69.3% 中 3 49.3%	国の調査中止	小 6 60.7% 中 3 38.8%	小 6 65.8% 中 3 41.0%	小 6 59.4% 中 3 42.9% 〔目標値〕 小 6 77.8% 中 3 53.9%	小 6 80.0%以上 中 3 55.0%以上

全国的に合計特殊出生率が加速的に減少していく中で、本市においては令和 3 年度と令和 4 年度は横ばいの状況でしたが、令和 5 年度は出生数が大きく減少したため前年より 0.08 ポイント低い 1.41 となりました。

「子育てするなら宇部」と若い世代に選んでもらえるまちとなるよう、結婚・妊娠・出産・子育て期における切れ目のない支援制度の充実や社会全体で子どもを育てる体制づくりを行うとともに、子どもが自分の未来や将来の夢を描けるよう、地域や地元企業等と連携した体験学習など多様な教育の取組も行っていきます。



基本目標 2

～「稼ぐ力」を強化するとともに、安心して働けるようにする～

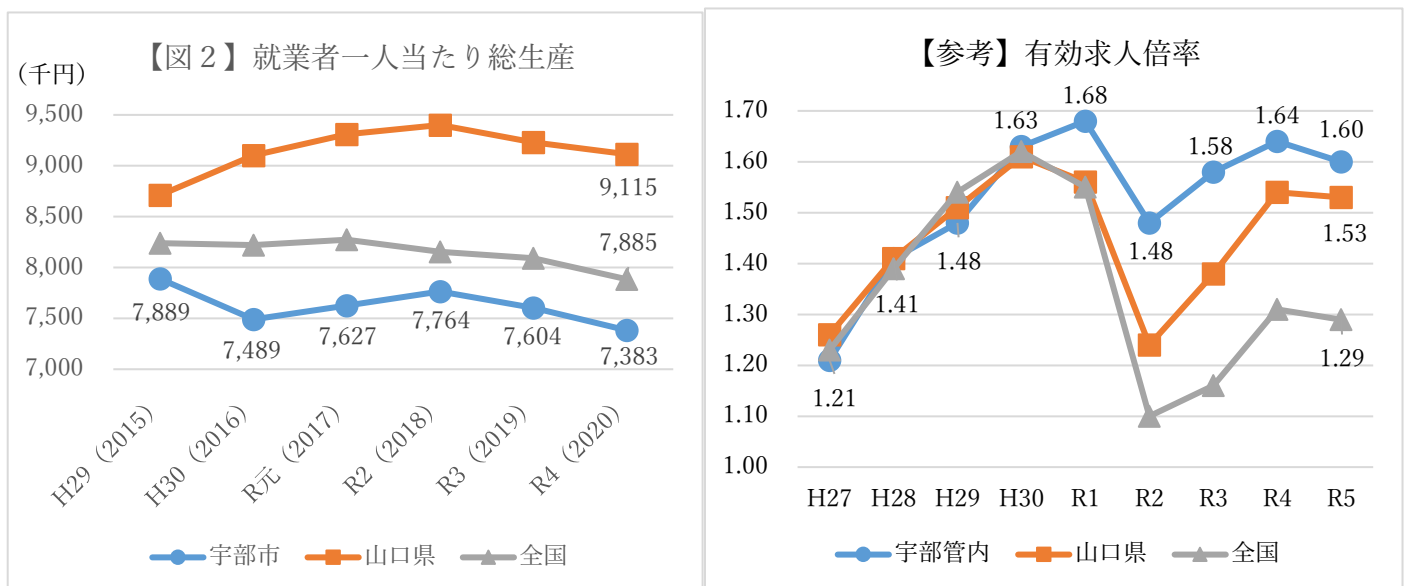
重要目標達成指標（KGI）

指標	基準 【H30(2018) 年度】	実績 【R2(2020) 年度】	実績 【R3(2021) 年度】	実績 【R4(2022) 年度】	実績 【R5(2023) 年度】	目標値 【R6(2024) 年度】
就業者 1 人当 り総生産（山 口県市町民経 済計算）【図 2】	7,489 千円 (2016 年度)	7,764 千円 (2018 年度)	7,604 千円 (2019 年度)	7,383 千円 (2020 年度)	7 月末頃に 公表予定	8,000 千円 (2022 年度)
高校生の市内 就職割合	49.3%	43.1% (県内 86.2%)	42.4%	41.7%	38.8% 〔目標値〕 54.0%〕	55.0%
女性活躍推進 企業における 女性管理職の 割合（累計）	21.0% (2017 年度末)	21.7%	21.7%	22.3%	22.1% 〔目標値〕 28.0%〕	30.0%

本市の稼ぐ力を写す就業者 1 人当たり総生産の令和 5 年度実績(令和 3 年度山口県市町民経済計算)は 7 月末頃に公表予定ですが、令和 3 年度や令和 4 年度は減少傾向にあり、また、令和 5 年度は 2021 年度の実績数値であるため新型コロナウイルスの影響も大きいことが想定されます。

労働力人口の減少や高齢化、事業所数の減少等により、経済規模の縮小が懸念される中、新しい産業の創出や人材育成とともに多様な人材の就労とその能力が発揮できる労働環境を高めていくことが重要であり、加えて DX による活動の効率化を促進していくことも必要です。

また、有効求人倍率は 1.5 倍を超えており、企業の人材不足は顕著であるため、本市の産業を支える人材の確保に向けた取組を強化していく必要があります。



基本目標 3

～関係人口を増やし、新しい人の流れをつくる～

重要目標達成指標（KGI）

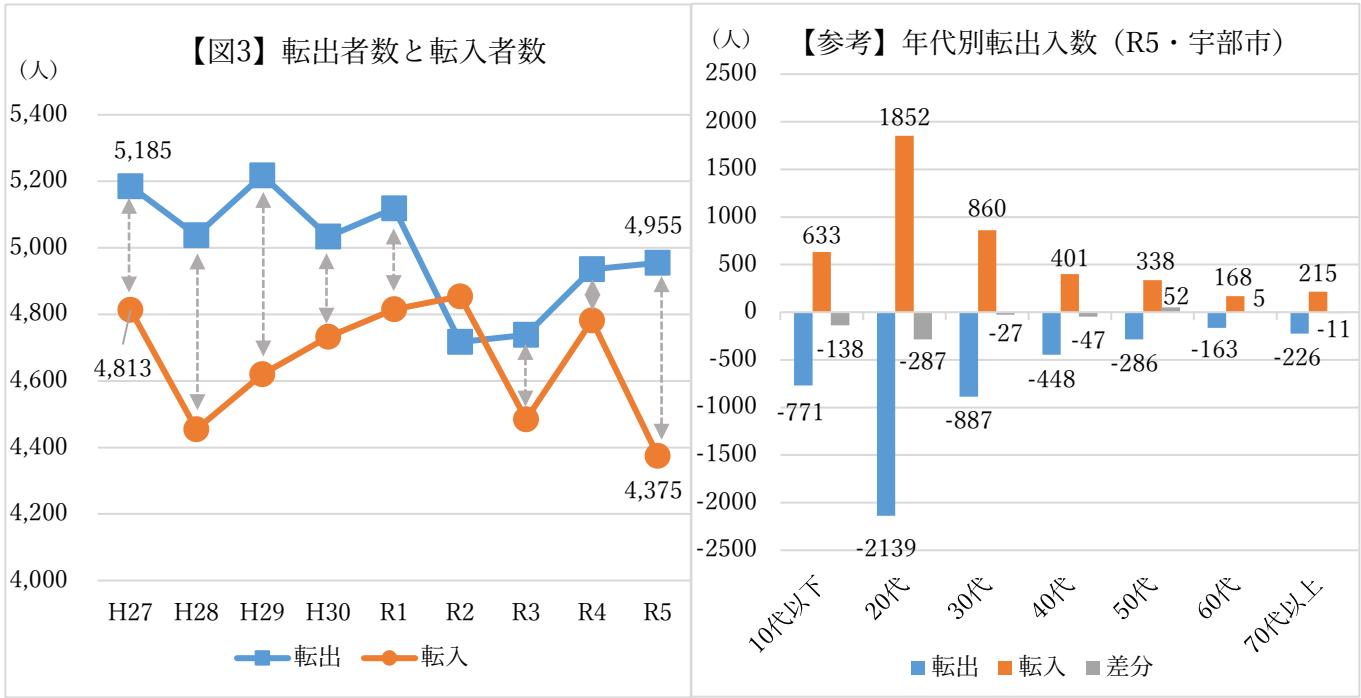
指標	基準 【H30 (2018) 年度】	実績 【R2 (2020) 年度】	実績 【R3 (2021) 年度】	実績 【R4 (2022) 年度】	実績 【R5 (2023) 年度】	目標値 【R6 (2024) 年度】
転出超過数【図 3】	301 人	△137 人	254 人	154 人	580 人 〔目標値 60 人〕	転出入者の 均衡
関係人口創出数 (計画期間累計)	—	693 人	2,058 人	3,887 人	4,863 人 〔目標値 1,600 人〕	2,000 人

第 1 期総合戦略から進めている移住定住対策の結果、近年は転出入者が概ね均衡していましたが、令和 5 年度は転入者数が減少したことにより転出超過数が拡大しました。

また、本市における令和 5 年転出者の年代別割合をみると、男女ともに 20 代の転出者が全体の 40% を超え、他の年代と比べ突出していることから、大学等の卒業を機に市内で就職や定住を行わず、市外へ転出しているものと考えられます。

若年女性の定住確保は人口減少対策として重要であるため、働きやすい職場環境づくりや、若者の活躍の場づくりなど、20 代をはじめとした若者に本市での定住や U ターンを選択してもらえる取組を行っていく必要があります。

また、将来的な移住や二拠点生活・居住につながるよう、本市のイメージ及び認知度の向上や、多様な形で継続的に関わる関係人口の創出、ふるさと納税等を利用して本市に関心がある人を増やす取組も強化していきます。



基本目標 4

～ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる～

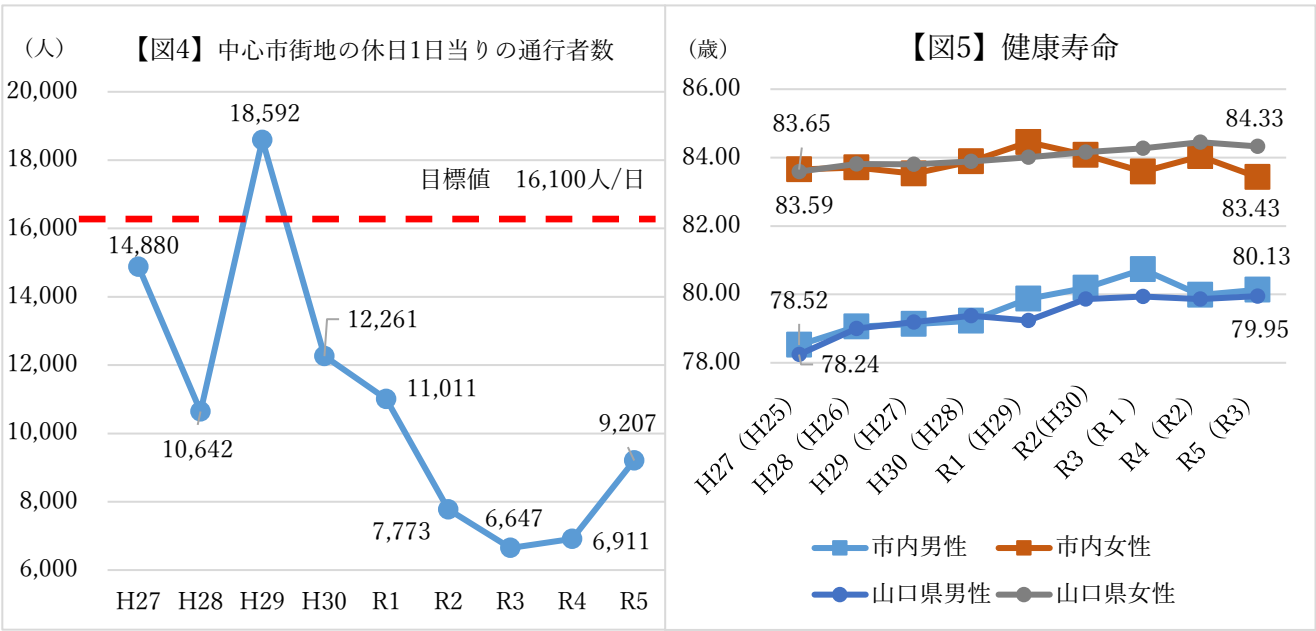
重要目標達成指標（KGI）

指標	基準【H30(2018)年度】	実績【R2(2020)年度】	実績【R3(2021)年度】	実績【R4(2022)年度】	実績【R5(2023)年度】	目標値【R6(2024)年度】
中心市街地の休日1日当たりの通行者数【図4】	12,261 人	7,773 人	6,647 人	6,911 人	9,207 人 〔目標値 16,000 人〕	16,100 人
健康寿命【図5】	男性 79.87 歳 女性 84.45 歳 (2017)	男性 80.19 歳 女性 84.07 歳 (2019)	男性 80.73 歳 女性 83.59 歳 (2020)	男性 79.98 歳 女性 84.04 歳 (2021)	男性 80.13 歳 女性 83.43 歳 (2022) 〔目標値 延伸〕	延伸

中心市街地の休日1日当たりの通行者数は、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度に大幅に減少しましたが、新型コロナウイルスの5類感染症への移行や、新天町のにぎわい創出拠点の整備等により徐々に回復してきています。

現在、市役所周辺地区においては、「宇部市中心市街地活性化基本計画」を踏まえ、市役所本庁舎建替えや旧山口井筒屋宇部店跡地に常盤通りにぎわい交流拠点を整備し、「居心地がよく歩きたくなる」まちなかの形成を目指す取組を進めています。この取組にあわせ、中心市街地での定期的なイベント開催や空き物件のリノベーション助成による都市機能の誘導・維持等により、中心市街地の魅力向上と来街促進につなげ、さらなる中心市街地の活性化を図っていきます。

健康づくりの面では、健康寿命は増減を繰り返しながらも横ばいの状況にあります。



参考 デジタル田園都市国家構想交付金事業の実施状況について

令和 5 年度実績 総事業費 549,489,960 円、 交付金 271,053,136 円

令和 4 年度実績 総事業費 479,515,316 円、 交付金 236,284,364 円

令和 3 年度実績 総事業費 504,583,369 円、 交付金 207,477,524 円

令和 2 年度実績 総事業費 457,490,569 円、 交付金 223,750,980 円

【地方創生推進タイプ】

	交付対象事業	令和 5 年度の取組	総事業費
1	ワークライフバランス実現のための子育て中心のまちづくり 《令和 4 年度～令和 8 年度》	・小児救急医療に関する調査・研究 ・職業体験イベントの開催 ・宇宙教育の推進 ・SDGs 人材育成事業（せかい！動物かんきょう会議の開催他）	46,083,260 円
2	「共存同栄・協同一致」による産業力強化、 次世代人材の確保 《令和 4 年度～令和 6 年度》	・成長産業創出事業 ・イノベーションの創出（オープンイノベーションセンター運営他） ・人材確保対策事業（事業者向け採用戦略セミナーの開催）	150,498,138 円
3	儲かる農水産業で地域経済の好循環 《令和 4 年度～令和 6 年度》	・スマート農業推進事業 ・お茶包括支援事業（お茶まつり開催他） ・農商工連携ブランド推進事業（うべ元気ブランド認証、商品開発支援） ・地域ブランド推進事業（うべ水産物プロモーション事業他）	36,230,423 円
4	域外から稼ぐ力を生み出す 「新たな産業・交流拠点」づくり推進事業 《令和 2 年度～令和 6 年度》	・新たなモビリティサービス調査・実証事業（MaaS 用アプリ開発他）	285,998 円
5	「暮らし満足度ナンバー 1」のまちを目指して ～関係人口創出による移住・定住の促進～ 《令和 3 年度～令和 5 年度》	・移住定住ポータルサイトの運営 ・関係人口情報の集約・事業マッチング ・うべ暮らし体験ツアー、移住定住プロモーション事業、結婚定住応援事業	6,211,163 円

6	「山口ゆめ回廊」観光を基軸とした交流価値共創プロジェクト ～観光交流から移住・定住へ～ 《令和4年度～令和8年度》	・スポーツによるまちづくり推進事業 ・広域プロモーション事業（山口宇部空港路国内線ロビーにおけるPR動画放映他） ・フィルムコミッション、夜型観光 ・アニメツーリズム	132,002,767 円
7	ICT&SIBの活用により健康長寿化と扶助費の増加抑制を可能とする飛び地連携型大規模ヘルスケア事業 《令和元年度～令和5年度》	・ICTヘルスケアサービスの提供（中間支援業務委託） ・モニタリングデータの分析他（評価業務）	53,322,931 円
8	レジリエントで持続可能な社会を創る「スマートシティ宇部プロジェクト」 《令和2年度～令和6年度》	・車海老養殖技術のスマート化とブランド力向上 ・5G映像配信プラットフォーム構築	22,944,130 円
小 計			447,578,810 円

【地方創生推進タイプ（令和4年度繰越分）】

	交付対象事業	令和5年度の実施	総事業費
9	ワークライフバランス実現のための子育て中心のまちづくり 《令和4年度～令和8年度》	・山口宇部空港ふれあい公園大型遊具整備事業 ・山口宇部空港ふれあい公園大型遊具設置オープニングセレモニー開催	100,481,150 円

【デジタル実装タイプ TYPE 1】

	交付対象事業	令和5年度の実施	総事業費
10	企業情報直接提供サービス事業 《令和5年度》	・契約監理システムの改修	1,430,000 円
合 計			549,489,960 円